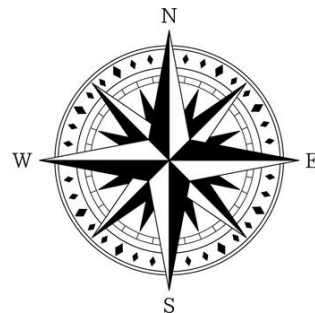




R6. 9 キャリア教育課だよりNo6 文責：櫻井、武田

～ 就業促進協議会を開催しました ～

9月11日に、本校にて志太榛原圏域の就業促進協議会を開催しました。参加者は、地域企業16社をはじめ、障害者雇用を支える関係機関（ハローワーク、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター等）と学校（本校、焼津分校、吉田特支）の計23機関、42人でした。

学校からは進路担当が、職場実習から新卒採用までの流れをスライドで説明しました。その後、高等部の作業学習の授業を参観していただきました。

また、関係機関からは、障害者雇用を助成する制度や、支援する仕組みについて説明がありました。協議会を通して、特別支援学校の生徒への理解を深め、職場実習の受け入れや雇用に向けて歩みを進めていただく機会となりました。



本校高等部の紹介



本校、焼津分校、吉田特支作業製品の紹介



<参加企業様の声 アンケートより>

- ・実際に特別支援学校の授業を見ることは今まで少なかったもので、本日は長い時間をかけ、ゆっくりと見学でき、生徒一人ひとりの個性や人柄をよく理解できました。法定雇用率だけではなく、戦力として障害者の雇用を考えるべきだと思いました。（水産加工会社）
- ・今まで数回実習を受け入れさせていただきましたが、その学生の日常を見ることができてとても勉強になりました。今後の実習、その先の就職にあたり、より真剣に大切に対応をしないと、身が引き締まりました。今後ともよろしくお願いいたします。（自動車関連会社）
- ・障害のある方への理解、障害者就業を受け入れる事への理解が少しですができました。障害者にできる仕事が当社にあるか、何ができるか今一度考える機会になりました。（食品会社）
- ・個性に合わせた就業支援を知ることができました。作業の切り抜きを検討してみます。
(化粧品会社)

～中学部3年生 職場体験学習～

9月9日（月）、9月10日（火）、9月12日（木）に、中学部3年生が1日職場での体験学習を実施しました。働くことや事業所での生活体験をとおり、身に付けたいことや頑張りたいことを見つけることや、自分の進路について具体的なイメージを持つことを目的として行いました。

初めての職場体験に緊張した表情でしたが、事業所の方々が温かく、また丁寧に教えてくださったことで、用意された作業に1日取り組むことができました。今回の体験から、「働く人になりたい!」という思いが大きくなり、今後の学校生活でも「挨拶」「報告」「連絡」「相談」といった仕事につながることを頑張りたいという生徒も多くいました。

以下、今回の感想です。

【生徒】

- 仕事が楽しかった。
- 長い時間の作業を頑張ることができた。
- 返事や報告ができなかったから、これから頑張りたい。
- 長い時間の作業を続けるのが大変だった。



【保護者】

- 将来のことを具体的に考えるきっかけになった。
- 初めての体験で、我々も緊張したが、作業に一生懸命取り組む姿が見られて安心した。
- 事業所の職員さんに今後のアドバイスがもらえて良かった。
- 職場の雰囲気や作業内容、工程等体験できてよかった。
- 日々の態度や表現が出てしまうことが分かり、挨拶や言葉遣い、上手な表現の仕方等を日頃から気を付けたり考えてたり、していく必要があると思った。

今回の体験学習の成果や課題を今後の生活や進路に繋げていけるといいですね。

～職場体験学習の様子～



畑作業



袋詰め



タオルたたみ



箱作り